

第64回帯広市PTA連合会研究大会ご挨拶

帯広市教育委員会
教育長 池原 佳一

第64回帯広市PTA連合会研究大会の開催にあたり、心よりお祝いを申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡がりにより、1年前には想定できなかったこのような状況の中、「新しい生活様式」のもとで本研究大会を開催されることに敬意を表しますとともに、日頃より子どもたちの健やかな成長と明るい未来を考え帯広市全体の教育振興にご尽力いただいておりますことに、心より御礼申し上げます。

近年、子どもたちを取り巻く環境は、ライフスタイルの多様化や人口減少といった身近な暮らしに関わる部分から、ICT環境の高度化やグローバル化といった社会全体に及ぶ幅広い分野まで、大きな変化のうねりの中にあります。帯広市教育委員会では、本年度からの10年間を期間とする新しい教育基本計画を策定し、未来を拓く子どもたちが変化の激しい社会を生きていくために学校教育の充実はもとより、家庭教育、社会教育等、さまざまな機会における学習の充実に努めているところです。

新型コロナウイルスの影響により、学校やご家庭、地域においてさまざまな変化を余儀なくされることとなり、当教育委員会といたしましても「学校・家庭・地域」の連携の大切さを改めて認識することになりました。こうした連携の強化や教育環境づくりの推進を目標に掲げるPTA連合会の皆様のご活動は、より一層重要となっていくことと思います。

本大会のテーマ「新たな挑戦～未来へ向かう多様な学びをリモートで～」は、昨年、提唱されたこの先10年を見据えたコンセプト「OBI-P STYLE」を踏まえたものであり、本大会の試みが、新しいPTA活動の実践へとつながる確かな一歩となり、「学校・家庭・地域」へ還元されることを願っております。

結びに、本大会をはじめとして北海道PTA連合会、帯広市PTA連合会の益々のご活躍と、皆様のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。